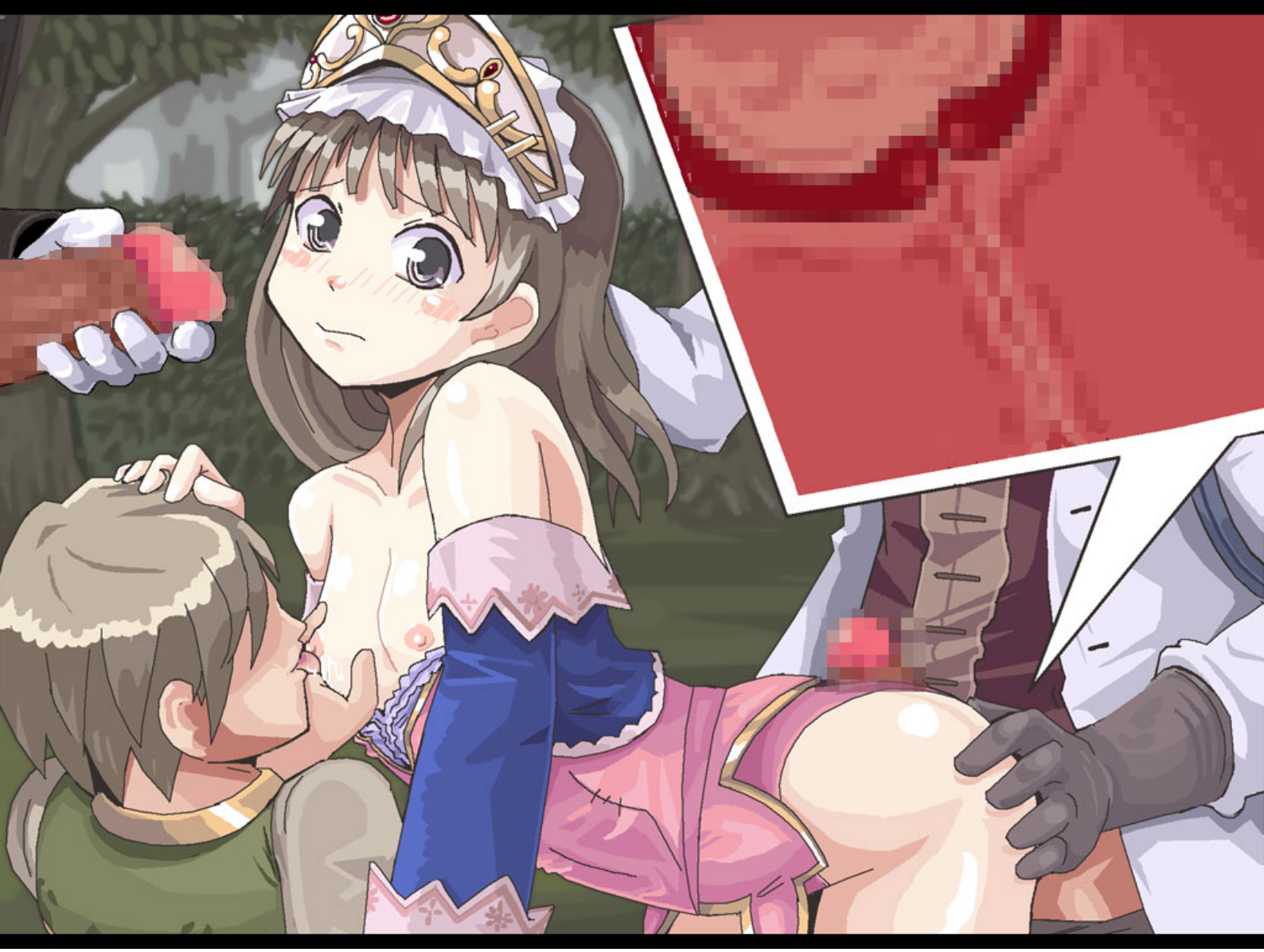
Hな錬金術
トロリのアトリエ18禁CG集

自堕落な父は家にあった貯蓄も全て使い果たし
その尻拭いを娘に押し付けた
姉は妹を守るために努力したが
小さな漁村には雇い入れてくれる
余裕のある店があるはずもなく
何の力も持たない娘は
その身を男共の慰み物として差し出すより
他に道はなかった…

特産となる新商品の開発を酒場のマスターから
頼まれた少女は「なんでもする」と
深く考えもせず即答した
結果、マスターが考案した
「美少女酒」なる酒の原料として
少女は自らの蜜壺から羞恥の滝を
グラスへと注ぐ事になるのであった

少女を護衛するはずの冒険者達は
人気のない森に入ると突然少女を取り囲み
自らの性欲を満たすために彼女に襲い掛かった
いつもいつもただ働きだった冒険者の男達は
その対価として彼女の若く瑞々しい肉体を
心行くまで蹂躙したのであった



先日、錬金術士が落としたモンスター用の
弛緩剤を手に入れた浮浪者の男達は一人の女が
路地裏に入ったのを見計らってそれを女に使用した
それは人間に対して効果が薄く
女は少なからず抵抗を見せたが、
女旱の男達はそれで返って興奮し
次々と女の体に自らの肉欲を流し込んでいくのだった

錬金術士はホムンクルスを作るうえで必要な
精子の提供を鍛冶屋の親父に相談した
親父は女に素材の提供を快く承諾したが、
手で出してくれるだけでよかったはずの作業は
親父の勘違いにより
女の股座に
男根を打ち付ける
激しい行為に変貌していったのであった

稀代の錬金術士が男の白濁液を素材として
収集していたという噂は瞬く間に広まっていった
男共は素材集めに協力するために
噂の錬金術士を訪ねたが
彼女はもうそれは必要ないからと
男達に説明をした
しかし優しい彼らは
彼女のために自らのありったけの精子を
彼女の穴という穴に注ぎ込んであげたのだった

豊漁祭で優勝を収めた貴族娘の四肢を
屈強な肉体の男どもは力任せに押さえつけ、
その秘部にいきり立った肉棒をねじ込んだ
娯楽に餓えた片田舎の雄達の祭りは
今、本当の意味での開始を迎えるのであった

友人に追いつくため躍起になっていた少女は
自らの身の丈を越えた大型魔獣の討伐を
ギルドから引き受けてしまった
一目見て一人では勝てないと冒険者としての
経験が警告を伝えたが気位の高い彼女には
逃げ出すという選択をすることはできなかった
勝負にすらならず魔獣に
敗れた少女に黒い獣は
彼女の脚よりも太い男根を無理矢理に挿入し
その小さな体の最深部に
濃厚な子種を何度も何度も注ぎ込むのであった

少女は冒険者としても錬金術士としても
大成できずに故郷に帰ってきた
そんな娘とその友人を父親は暖かく迎え
彼女達に新しく住む場所と仕事を与えた
小さな漁村では今日も彼女達の喘ぎ声と共に
大量の金貨の落ちる音が響くのであった…